

べいてつ
釜石産餅鉄を原料にした南部鉄瓶を釜石市へ寄贈します
～鉄の記念日に鉄のまちの復興と発展の願いを込めて～

この度、いわてたたら研究会（会長 田山和康、事務局 岩手県工業技術センター）では、釜石産餅鉄(鉄鉱石)を原料とした南部鉄瓶を、鉄の記念日(12月1日)に釜石市に寄贈いたします。

この鉄瓶の材料の鉄は、釜石市橋野町の沢松川で採取した餅鉄を、当研究会初代会長の中川淳の指導の下、『釜石市立鉄の歴史館』のたたら製鉄体験会で製鉄したものです。たたら製鉄とは日本古来の製鉄方法であり、木炭を燃料に砂鉄などに含まれる酸化鉄を還元して鉄をつくる技術です。手間と時間はかかりますが、低温で還元することにより不純物の少ない鉄が得られます。

鉄瓶の胴と蓋は釜石産餅鉄100%の鉄で、不純物の少ない鉄を使用しているため、銀色に輝き、さびにくく、蓋を胴に置いたときの音がよく響き余韻が長いのが特徴です。

当研究会では、本鉄瓶の寄贈が、釜石の製鉄技術が岩手の発展につながってきたことや釜石や岩手の鉄文化やアイデンティティーを示すとともに、地域の復興と発展の一助になることを願っています。

■ 寄贈式及び寄贈鉄瓶について

日 時	平成30年12月1日(土) 11:40から ※「鉄の学習発表会(10時から12時まで)」の最後に行われます。
場 所	チームスマイル・釜石PIT / 釜石市大町一丁目1番10号(釜石情報交流センター)
寄 贈 物	釜石産餅鉄製 桜紋布団形鉄瓶
原 料 餅 鉄 産 地	釜石市橋野町 沢松(さわひ)川
たたら製鉄実施場所及び指導者	釜石市立鉄の歴史館 中川淳(当研究会 初代会長)
寄 贈 鉄 瓶 制 作 協 力	・たたらで作った鉄の鋳塊作製/ 岩手大学 鑄造技術研究センター ・鋳塊の再溶解及び成分調整/ 岩手県工業技術センター ・南部鉄瓶制作/ 田山鐵瓶工房 伝統工芸士 田山和康(当研究会 会長)
研究会の概要	当研究会は、たたら製鉄に関する情報交流及び勉強会を行い、「たたらによる良質な鉄づくり」と「たたらで作った鉄を活用した良質な製品づくり」に取り組んでいます。岩手県には多くの地域で製鉄の歴史があり、南部鉄器という伝統産業もあります。当研究会は、これら地域産業の振興と地域固有の歴史文化の継承及び発展に資することを目的としています。

※ ご不明な点がございましたら、電話またはメールにてお問い合わせください。

地方独立行政法人岩手県工業技術センター

<http://www2.pref.iwate.jp/~kiri/>

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡2-4-25 TEL:019-635-1115 FAX:019-635-0311

E-mail: CD0002@pref.iwate.jp

担 当: 素形材技術部 高川



研 究 会 概 要

団 体 名 (ふりがな)	いわてたたら研究会 (いわてたたらけんきゅうかい)
代表者名 (ふりがな)	会長 田山和康 (たやま かずやす)
連 絡 先 (住所、電話等)	事務局 〒020-0857 住所 岩手県盛岡市北飯岡二丁目 4 番 25 号 (地方独立行政法人岩手県工業技術センター内) TEL 019-635-1115 FAX 019-635-0311 E-mail takagawa@pref.iwate.jp (素形材技術部 高川)
組 織	会員数 : 16 会員 (個人及び事業所) 組織体制 : 会長 1 名、副会長 1 名、理事 3 名、 会計 1 名、会計監事 1 名
活動内容	<ul style="list-style-type: none">・たたら等事例報告会・講演会・たたら操業 (鉄づくり)・たたらで作った鉄を活用した鉄器づくり (製品化)